

タイル面及び目地の保護と防水



施工要領書

## 下地処理

□ 下地ごしらえ

- ① タイルの剥離部、浮き箇所、ひび割れ箇所は、事前に張り替え又は、エポキシ注入・シーリング材充填などの補修をする。
- ② 深目地の場合、目地入り隅、タイル木口へ刷毛で丁寧に各工程塗り付け十分に造膜させる。または、浅目地に埋め戻し、十分に目地モルタルを乾燥後施工して下さい。
- ③ 伸縮目地やその他のシーリング材が劣化し、補修の必要な箇所は、打ち替えを行い、乾燥硬化させる。打ち替え後、10日以上乾燥養生放置後、セブンSを標準施工する。  
※ 現在、シーリングの打ち替えは、2成分形アクリルウレタンをお薦めしております。
- ④ ポリサイファイドシーリング材、変性シリコーンシーリング材の場合、シーリング材の上へは養生し、セブンSを塗らないようにするか、後打ちするよう薦めております。  
ブリード止めプライマー（セブンファンデ）は、変性エポキシ樹脂の為、経年で黄変し、コーヒー色になります。ポリウレタン系シーリング材は、直射による耐候性が劣るため、お薦めできません。
- ⑤ シーリング用プライマーやエポキシ注入材が、タイル表面に付着した箇所に経時後見苦しい黄変むらとなる。また、シンナーでの拭き伸ばしに十分注意し、乾燥後研磨紙ずり等により完全に除去しておく。
- ⑥ 入り隅部へは、2成分形アクリルウレタンを三角に打ち面を造ると防水性が向上します。
- ⑦ ワックスや油脂などがタイル面に付着している場合は、洗剤を使用し、水洗いを行うか、研磨紙ずり及び、シンナー拭き等により、除去する。
- ⑧ 目地部、ひび割れ部などからの白華物（エフロレッセンス）は、硬質ブラシやスクレーパー、ヘラなどで、できるだけ除去し、弱酸性液（希塩酸、しゅう酸等）で洗浄除去後、水洗乾燥する。尚、酸で目地モルタル、タイル裏面モルタル、及びその他のセメントモルタル、コンクリート面の劣化、強度低下を生じさせないように、水洗いを充分行うなどして注意して施工する。
- ⑨ かびや藻などの微生物汚染を生じている場合は、カビ取り材、アルコール液で殺菌処理する。
- ⑩ 塵埃や付着物などの汚染物は、セブンデオ等を用い、汚れを除去した後、高圧水洗浄（150kgf/cm<sup>2</sup>）を行う。
- ⑪ 水洗後のタイル面を十分乾燥する。

## セブンス (S-Y工法) の施工

□ セブンス (S-Y工法) の塗り工程

〔主材塗付方法〕

- ① 細目砂骨ローラー塗り ② ウールローラー塗り

工 程	使用材料	希 積 (重量%)	塗付け量 (Kg/m <sup>2</sup> )	工程時間 (時間)	施 工 方 法
1 下塗り(1~2回)	水性セブンスシーラー	水 (0~10)	0.13~ 0.15	3以上 24以内	中毛ウールローラー
2 主材塗り(1)	セブンス	水 (0~3)	0.4 ~0.7	3以上 168以内	細目砂骨ローラー
3 主材塗り(2)	セブンス	水 (0~3)	0.2 ~0.3	16以上 168以内	中毛ウールローラー
4 上塗り (半艶、艶有)	水性セブンストップ	水 (0~10)	0.12 ~0.15	2以上 8以内	中毛ウールローラー
5 上塗り (半艶、艶有)	水性セブンストップ	水 (0~10)	0.12 ~0.15	24以上	中毛ウールローラー
6 低汚染仕上げ	セブンスヨゴレガード	無希積	0.03 ~0.05	24以上 (最終養生)	カップガン・ 低圧温風スプレー

◎斜壁部への主材塗りは、1kg/m<sup>2</sup>を基準にして下さい。

- ☆ 陶器質や無釉薬タイルの場合、セブンスシーラーは乾燥後2回目を追いかけて塗りして下さい。
- ☆ セブンスシーラー塗布後、目地モルタルの吸い込みの大きい部分は、乾燥後、再度増し塗りし、目地モルタルを均一に濡れ色にして下さい。
- ☆ セブンス主材塗り2回で最低0.6kg/m<sup>2</sup>塗り切れない場合、塗りきるまで重ね塗りして下さい。
- ☆ タイルが接地面から張られている場合、接地面から10cm程、塗装は避けて下さい。
- e 花壇や擁壁など裏面からの湿気供給が予想される部分への塗装は避けて下さい。
- ☆ セブンス塗装では、塗装しない取り合い側からの浸水による不具合無きようにして下さい。  
(養生テープにカッターなどを当て剥がす。)

施工後、塗膜が乾燥してから養生テープを剥がす場合、カッターなどを当て、養生テープで塗膜を剥がさないように気をつける。

- 1) 下地の状態により、塗付け量に差異を生じることがあります。  
水性セブンスシーラー塗布後、目地モルタルの吸い込みの大きい部分は、乾燥後、再度増し塗りし、目地モルタルを均一に濡れ色にして下さい。
- 2) セブンス主材塗りは、ローラーの運びをゆっくり配り塗りすると、気泡を含みづらくなります。一度に腕を伸ばし塗装すると、造膜不足になり、気泡が入り、白ぼけを発生し易くなります。
- 3) 予めセブンス主材の仕上方向を打ち合わせて下さい。
- 4) 水性セブンスシーラー、水性セブンストップは、二液型です。硬化剤の入れ忘れに注意して下さい。  
又、塗装直後は乾燥しても当日に大量の降雨が当たると戻る場合があります。
- 5) タイル面が手触で暑い場合、セブンス主材塗付時の乾きが早くなり、不具合を発生し易くなりますので、注意して下さい。
  - ・セブンス主材に水道水3% (300~400cc) 程を加え、混練棒にて気泡が入らぬように攪拌し、塗膜の表面乾燥を遅らせる。
  - ・セブンス主材を狭い面積づつ塗り継ぎ、主材の糸引き、ローラー運びが重くなったら、塗りを止め、乾燥硬化後に塗り増しして下さい。
  - ・セブンス主材表面が皮張り、糸引きが始まってから、ローラーを運ぶと、塗膜表面を荒らし、気泡混入させ、仕上面を悪くし、白ボケの要因となります。

## セブンス（S-Y工法）主材塗り1回目細目砂骨ローラー仕上げの施工要領

### ●はじめに

セブンスシリーズは、透明仕上げの為、汚れたローラー、ハンドル等の道具は使用しないこと。

### 1) 下塗り

- ① 下地調整が十分行われていることを確認後、下塗り工程を行う。
- ② 水性セブンスシーラーは、基剤／硬化剤を 10／1（重量比）とし水道水で0～10%（重量比）希釈でハンドミキサー等で均一に混合する。
- ③ 中毛ウールローラー又は、スプレーにより、塗り残し、塗り継ぎの生じないよう均一に所定量塗り付ける。（下地、タイルの状態により塗布量が異なる場合があります。）

### 2) 主材塗り〔1回目細目砂骨ローラー塗り〕

- ① 下塗りの乾燥後（3時間以上）、主材塗りする。 ※指触で確認する。
- ② セブンスを0～3%水希釈し、均一に混合する。混合方法は、気泡が混入しないように練棒等で静かに攪拌する。  
※通常の高速ハンドミキサーは、使用できません。
- ③ 細目砂骨ローラーにセブンスをたっぷり含ませ、気泡が混入しないように、配り塗り、仕上げ塗りし、均一に仕上げる。（予め砂骨模様の方向を打ち合わせて下さい。）  
一度に腕を伸ばし、塗装すると造膜不足になり、気泡が入り易くなります。
- ④ セブンス 1回塗り面の乾燥硬化（通常3時間以上）後、透明になってから、2回目のセブンスを中毛ウールローラーを用いて、1回目同様に2回目を仕上げる。

### 3) 上塗り

- ① 主材セブンスの乾燥硬化を確認後、上塗り工程を行う。
- ② 水性セブンストップは、基剤／硬化剤を10／1（重量比）とし、水道水で0～10%希釈し、主剤、硬化剤を必ず全量混入し、ハンドミキサー等を使用して均一に混合する。上塗材の半艶は、艶消材が分離状態になっている場合もありますので、缶の底部まで充分混合するよう特に注意して下さい。  
上記の理由から、石油缶より少量の使用は行わないで下さい。少量使用の場合は、4Kgセットをご利用ください。
- ③ 中毛ウールローラーにより、塗り残し、塗り継ぎの生じないよう均一に塗り付ける。  
なお、主材塗りも含めて、透明仕上げのため、塗り残し、塗りむらのないよう十分注意が必要である。
- ④ 水性セブンストップ 1回塗り面の乾燥後（通常3時間以上）、2回目の水性セブンストップを中毛ウールローラーを用いて、1回目同様、2回目を仕上げる。
- ⑤ 上塗材の半艶は、艶消し材が沈降していることがありますので、ハンドミキサーで十分攪拌し、塗棒等で缶のコーナー部の溜まりも良く混合して下さい。
- ⑥ 仕上げ面は、充分乾燥硬化させるよう、24時間以上乾燥養生する。
- ⑦ セブンス主材層は、透明な塗膜なので、上塗りを塗るとき、塗り残しが発生しやすいので、2回塗りをして下さい。

### 4) 低汚染仕上げ（吹付け）上塗りの翌日以降に吹付け塗装する。

- ① 吹付け（温風低圧塗装機/エアスプレーガン等）で塗り付ける。
- ② 塗り残し、塗りむらのないよう、できるだけ小面積づつを縦横十字に0.03～0.05（Kg/m<sup>2</sup>）程度を1回塗りして下さい。
- ③ 使用機器は、使用后、アルコール等で洗浄して下さい。

注意：ローラーでの塗装は、セブンス仕上がり面から弾きやすく、不向きです。

□ セブンS (S-Y工法) の塗り工程  
〔中毛ウールローラー仕上げ〕

工 程	使用材料	希 釈 (重量%)	塗付け量 (Kg/m <sup>2</sup> )	工程時間 (時間)	施 工 方 法
1 下塗り(1~2回)	水性セブンSシーラー	水 (0~10)	0.15 ~0.2	3以上 24以内	中毛ウールローラー又は 吹付け
2 主材塗り(1)	セブンS	水 (0~3)	0.3 ~0.5	3以上 168以内	中毛ウールローラー
3 主材塗り(2)	セブンS	水 (0~3)	0.3 ~0.5	16以上 168以内	中毛ウールローラー
4 上塗り (半艶、艶有)	水性セブンストップ	水 (0~10)	0.12 ~0.15	2以上 8以内	中毛ウールローラー又は 吹付け
5 上塗り (半艶、艶有)	水性セブンストップ	水 (0~10)	0.12 ~0.15	24以上	中毛ウールローラー又は 吹付け
6 低汚染仕上げ	セブンヨゴレガード	無希釈	0.03 ~0.05	24以上 (最終養生)	カップガン・ 低圧温風スプレー

◎斜壁部への主材塗りは、1kg/m<sup>2</sup>を基準にして下さい。

- ☆ 陶器質や無釉薬タイルの場合、セブンSシーラーは乾燥後2回目を追いかけて塗りして下さい。
  - ☆ セブンSシーラー塗布後、目地モルタルの吸い込みの大きい部分は、乾燥後、再度増し塗りし、目地モルタルを均一に濡れ色にして下さい。
  - ☆ セブンS主材塗り2回で最低0.6kg/m<sup>2</sup>塗り切れない場合、塗りきるまで重ね塗りして下さい。
  - ☆ タイルが接地面から張られている場合、接地面から10cm程、塗装は避けて下さい。
  - ☆ 花壇や擁壁など裏面からの湿気供給が予想される部分への塗装は避けて下さい。
  - ☆ セブンS塗装では、塗装しない取り合い側からの浸水による不具合無きようにして下さい。  
(養生テープにカッターなどを当て剥がす。)  
仕上り面の養生を剥がす時は、予め、カッターを入れ、塗装面を見切して下さい。
- 1) 下地の状態により、塗付け量に差異を生じることがあります。  
水性セブンSシーラー塗布後、目地モルタルの吸い込みの大きい部分は、乾燥後、再度増し塗りし、目地モルタルを均一に濡れ色にして下さい。
  - 2) セブンS主材塗りは、ローラーの運びをゆっくり配り塗りすると、気泡を含みづらくなります。一度に腕を伸ばし塗装すると、造膜不足になり、気泡が入り、白ぼけを発生し易くなります。
  - 3) 予めセブンS主材の仕上方向を打ち合わせて下さい。
  - 4) 水性セブンSシーラー、水性セブンストップは、二液型です。硬化剤の入れ忘れに注意して下さい。  
又、塗装直後は乾燥しても当日に大量の降雨が当たると戻る場合があります。
  - 5) タイル面が手触で暑い場合。セブンS主材塗付時の乾きが早くなり、不具合を発生し易くなりますので、注意して下さい。
    - ・セブンS主材に水道水3% (300~400cc) 程を加え、混練棒にて気泡が入らぬように攪拌し、塗膜の表面乾燥を遅らせる。
    - ・セブンS主材を狭い面積づつ塗り継ぎ、主材の糸引き、ローラー運びが重くなったら、塗りを止め、乾燥硬化後に塗り増しして下さい。
    - ・セブンS主材表面が皮張り、糸引きが始まってから、ローラーを運ぶと、塗膜表面を荒らし、気泡混入させ、仕上面を悪くし、白ボケの要因となります。

## セブンス（S-Y工法）中毛ウールローラー仕上げの施工要領

### ●はじめに

セブンスシリーズは、透明仕上げの為、汚れたローラー、ハンドル等の道具は使用しないこと。  
養生を剥がす時は、予めカッターを入れ、塗装面を見切ってください。

### 1) 下塗り

- ① 下地調整が十分行われていることを確認後、下塗り工程を行う。
- ② 水性セブンスシーラーは、基剤／硬化剤を 10／1（重量比）とし0～10%水希釈し、ハンドミキサー等で均一に混合する。
- ③ 中毛ウールローラー又は、スプレー塗りにより、塗り残し、塗り継ぎの生じないよう均一に所定量塗り付ける。（下地、タイルの状態により塗布量が異なる場合があります。）

### 2) 主材塗り〔中毛ウールローラー塗り〕

- ① 下塗りの乾燥後（3時間以上）、主材塗りする。 ※指触で確認する。
- ② セブンスを0～3%水希釈し、均一に混合する。混合方法は、気泡が混入しないように練棒等で静かに攪拌する。  
※通常の高速ハンドミキサーは、使用できません。
- ③ 中毛ウールローラーにセブンスをたっぷり含ませ、気泡が混入しないように、配り塗り、仕上げ塗りし、均一に仕上げる。（予め仕上方向を打ち合わせて下さい。）  
新しいローラーを使用する場合は、あらかじめ水でよくなじませ、気泡を混入しないよう均一塗りを行う。
- ④ セブンス 1回塗り面の乾燥硬化（通常3時間以上）後、透明になってから、2回目のセブンスを中毛ウールローラーを用いて、1回目同様に2回目を仕上げる。

### 3) 上塗り

- ① 主材セブンスの乾燥硬化を確認後、上塗り工程を行う。
- ② 水性セブンストップは、基剤／硬化剤を10／1（重量比）とし、基剤を0～10%水希釈し、硬化剤を混入し、ハンドミキサー等を使用して均一に混合する。上塗材の半艶は、艶消材が分離状態になっている場合もありますので、缶の底部まで充分混合するよう特に注意して下さい。  
上記の理由から、石油缶より少量の使用は行わないで下さい。少量使用の場合は、4Kgセットをご利用ください。
- ③ 中毛ウールローラーにより、塗り残し、塗り継ぎの生じないよう均一に塗り付ける。  
なお、主材塗りも含めて、透明仕上げのため、塗り残し、塗りむらのないよう、十分注意が必要である。
- ④ 水性セブンストップ 1回塗り面の乾燥後（通常3時間以上）、2回目の水性セブンストップを中毛ウールローラーを用いて、1回目同様、2回目を仕上げる。
- ⑤ 上塗材の半艶は、艶消し材が沈降していることがありますので、ハンドミキサーで十分攪拌し、塗棒等で缶のコーナー部の溜まりも良く混合して下さい。
- ⑥ 仕上げ面は、充分乾燥硬化させるよう、24時間以上乾燥養生する。
- ⑦ セブンス主材層は、透明な塗膜なので、上塗りを塗るとき、塗り残しが発生しやすいので、2回塗りをして下さい。

### 4) 低汚染仕上げ（吹付け） 上塗りの翌日以降に吹付け塗装する。

- ① 吹付け（温風低圧塗装機/エアスプレーガン等）で塗り付ける。
- ② 塗り残し、塗りむらのないよう、できるだけ小面積づつを縦横十字に0.03～0.05 (Kg/m<sup>2</sup>)程度を1回塗りして下さい。
- ③ 使用機器は、使用后、アルコール等で洗浄して下さい。

注意：ローラーでの塗装は、セブンス仕上がり面から弾きやすく、不向きです。

## 使用材料一覧表

□ 荷 姿

製 品 名	容 量	荷 姿	備 考
水性セブンSシーラー	11Kgセット	石油缶	
	3.3Kgセット	石油缶	
セブンS	14Kg 4Kg	石油缶	水性 1液
水性セブンSトップ 艶有・半艶	11Kgセット	石油缶	基剤/硬化剤 10/1 10kg/1kg
	3.3Kgセット	石油缶	基剤/硬化剤 3kg/0.3kg
セブンヨゴレガード	4L	ポリ容器	汚染防止剤
セブンデオ	1L	ポリ缶	洗浄剤

160205

 **株式会社 セブンケミカル**

東京都新宿区西新宿7-17-14(源共同ビル)

TEL 03(3366)2616 FAX 03(3366)2619

e-mail kimura@seven-chemical. co. jp

e-mail hukuda@seven-chemical. co. jp